

第3回 国道357号社会実験推進協議会 議事要旨

日時：平成16年12月14日(火) 10:00~12:00

場所：千葉県自治会館 大ホール

出席者：日本大学名誉教授

船橋市臨海工業地区連絡協議会 勤労課長

市川市道路交通部 次長・船橋市道路建設課 課長・習志野市都市計画課 主幹

(国交省) 関東地方整備局 道路計画第二課 調査第一係長・千葉国道事務所 所長・

東京湾岸道路事務所 所長

(日本道路公団) 東京建設局 企画調査課 調査役・東京管理局 東局 営業企画課 課長代理、

東京管理局 東局 交通技術課 課長・東京管理局 千葉管理事務所 所長

(千葉県) 県土整備部 道路計画課 課長、千葉地域整備センター 所長、葛南地域整備センター 次長

(首都高速道路公団) 東東京管理局 調査課 課長

1. 第2回協議会の結果の公表について

第2回協議会議事要旨の出席者において、日本道路公団の東京管理局の後に東局を追加する。その他、議事要旨の内容及び資料について特に異議なし。を踏まえた修正資料を公表資料とする。

2. 広報活動及び効果検証調査の実施状況報告

12月・1月休日調査の調査時間および調査路線の変更について特に異議なし。横断幕設置箇所において、国道357上の浦安第1歩道橋と首都高上の浦安第2歩道橋の「実験中のみ設置」「実験中・実験後設置」の表示が逆となっているので、修正する。

3. 社会実験結果の中間報告

1) 広報活動の認知度調査の結果について

今後、認知度調査資料作成時には、広報活動の効果がひと目でわかるような資料を作成した方が良いのではないかと。

2) 交通状況の調査結果(速報)について

(分析について)

湾岸習志野ICの断面交通量が増えているのに、湾岸市川ICが減っているのはなぜか。日単位だとわからないので、朝夕のピーク時等、時間帯別の断面交通量の増減量を分析するなどしてはどうか。

湾岸習志野ICのETC出入交通量の変化について、首都高との連続利用が増えたかを見るため、首都高速千鳥町ランプの出入交通量の増減を分析してはどうか。

湾岸習志野ICでのETC利用車の時間帯別の増減量だけでは交通量が多い時間帯が大きくなる。増減率を併せて提示した方が良いのではないかと。

湾岸習志野 IC の ETC 出入交通量の月変動と、一般車も含めた全車両の出入交通量の月変動を比較しているが、一般車だけの月変動と比較した方が ETC 出入交通量の伸びがわかりやすいのではないか。

今後、プローブ調査結果についても整理を進め、報告して頂きたい。

「今後、他 IC の ETC 出入交通量の増減なども分析し、実験効果の有無を確認する予定。」とのコメントについても、分析方針に加えるべきではないか。

(資料修正について)

湾岸習志野 IC 入口(東京方面行き)の全車種の増加率は計算ミスではないかと考えられるため、確認の後修正する。

全車両の IC 出入交通量のグラフの縦軸の「ETC 出入交通量」を「日交通量」に修正する。

4. 今後の活動方針(案)

アンケート調査票の詳細については、12月17日までに事務局まで意見を頂く。

沿道住民の方へのアンケートについては船橋市さんにご協力をお願いする。

一般利用者および企業へのアンケートの割引率、割引時間帯の妥当性への質問は、何も制約がないと、「割引率をもっと大きくしてもよい」「終日24時間が適当だ」という回答に偏るのではないか。文言を検討した方が良いのではないか。

首都高との一体利用について引き出せる質問はないのか。

5. その他

記者発表資料について、ご指摘頂いた資料の修正を行い、関係機関で内容について調整を行う。

ETC 普及促進にかかる取組(パンフレットの設置)についての協力をお願い致します。(日本道路公団東京管理局東局さんより)

今後、社会実験ホームページにおいてもアンケートを行う予定であるので、各機関の皆様にご協力をお願い致します。

以上